

平成28年度 阿賀野市生活科部 活動報告

部長 石塚 政夫

1 研究主題 「子どもが生き生きと活動できる教材開発」

2 活動内容の概要

阿賀野市生活科部の活動

- ・ 4月 第1回部会 今年度における組織及び事業計画の立案
- ・ 6月 第2回部会 研修内容 「水辺の生きものの採集と飼育」
- ・ 11月 第3回部会 研修内容 「うごくおもちゃづくり」

3 研究の実際

研修1「水辺の生きものの採集と飼育」

講師 三市北蒲原郡地区理科教育センター 堀文夫先生・中村公義先生

子どもたちは生き物が大好きである。中でも、水辺の生きものは興味深い教材の1つである。自分の手で捕まえて飼育し、観察をとおして、生きものの習性を学んだり、いのちの尊さを考えたりすることは大切なことである。しかし、教室で飼育したいと思っても、どこで採集したらよいか、どのように世話したらよいかなど、分からないことも多い。そこで、近隣の水辺の生きものが生息している場所を案内していただき、実際に採取しながら、捕まえ方や飼育のポイントを教えていただいた。

飼育のポイントについては、①水そうは、直射日光を避けた明るい場所に置くとよいこと、②餌は、食べ残しが出ない（やや少なめ）量にすること、③水草も入れるようにすること、④水の透明度等を考慮して、生きものにストレスを与えないように配慮することが大切であることなどを教えていただいた。

子どもたちの興味・関心に応える教材を準備するための研修として、大変参考になる内容となった。



研修2「うごくおもちゃづくり」

講師 三市北蒲原郡地区理科教育センター 長谷川直紀先生

「おもちゃづくり」は、子どもたちにとって大変魅力ある学習である。そこで、実際におもちゃを作って動かしてみる活動をとおして学習のポイントを学ぶ研修を開催した。実際の制作や試行をとおして、子どもたちが作る際にどこに困難を感じるか、どこが面白さのポイントか、最後まで意欲的に活動させるためにどこを工夫したらよいかなどについて、実感をもって学ぶことができた。また、本単元の学習は、3年生から始まる理科学習の内容にかかわる要素も多いことを指導いただいた。

子どもたちの試行錯誤しながらの意欲的な活動を身をもって体験するよい機会となった。



4 成果と課題

2回の研修をとおして、水辺の生きものの採集や飼育、おもちゃ作りに関する指導のポイントをあらためて知ることができた。他の教材に関しても、子どもの興味・関心に応え、生き生きとした活動を支えていくための工夫や留意点を追求していきたい。